



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			9月2日	9月5日	9月6日	9月8日	9月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2560	3.2830	3.1960	3.2140	3.2740	+0.0600
	BRL/JPY	Spot	31.92	31.50	31.92	31.88	31.39	-0.49
	EUR/USD	Spot	1.1156	1.1146	1.1255	1.1260	1.1233	-0.0027
	USD/JPY	Spot	103.92	103.43	102.43	102.48	102.69	+0.21
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.72	13.72	13.71	13.69	13.72	+0.0276
	Future	1Year(p.a.)	12.94	12.93	12.88	12.86	12.95	+0.0898
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.253	2.190	2.156	2.149	2.245	+0.096
	USD	1Year(p.a.)	2.321	2.288	2.221	2.232	2.251	+0.019
株式	Bovespa指数		59,616.00	59,566.00	60,129.00	60,231.66	57,999.73	-2,231.93
CDS	CDS Brazil 5y		258.09	256.85	251.13	244.58	257.63	+13.05
商品	CRB指数		179.994	179.994	180.895	185.631	182.535	-3.096

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは米利上げ観測の後退で一時3.20を割れるも、ECBの結果を受けて反落。
- レアルは週初3.2550で寄り付き、週間高値となる3.2850を示現。週初には予想を大きく下回る米国経済指標を受け、米早期利上げ観測が後退するとレアルは反転。更に大口のインフローと思しきレアル買いが出て週間高値3.1670を示現した。しかし、ECBで追加緩和が見送られるとリスク資産売りとなり3.28台前半まで反落し、結局3.2740で越週。
- 伯中銀公表のアナリスト予想調査では2016年のGDP成長率予想が▲3.16%から▲3.20%に引き下げられたが、2017年予想は1.23%から+1.30%へ3週連続で引き上げられた。インフレ率予想は2016年末が7.34%で据え置かれ、2017年末は5.14%から5.12%へ小幅下方修正された。
- 5日にロシアとサウジアラビアが共同記者会見を開き、原油市場の安定化で協力する意向を表明。しかし、増産凍結を言明するに至らなかった。その後、米エネルギー情報局の週間原油在庫統計で、原油在庫が1451万バレル減少し1999年以降で最大幅の減少を記録。これを受けてWTI先物は43ドル台後半から一時47ドル台後半まで上昇した。
- 6日、伯中銀は先週のCOPOMの議事録を公表。声明文で示されたハト派の内容が再確認された。今後の金融政策変更の条件として、昨今の食品価格上昇がインフレ率全体に与える影響が限定的であること、金融政策や経済活動の影響を受けやすい品目が相応のペースでインフレ減速を示すこと、財政改革法案可決の不確実性が減ること、の3点が挙げられた。
- 8日、ECBは金融政策の現状維持を決定し、追加緩和を見送った。更に、ドラギECB総裁が当面は追加刺激策の必要はないと発言したことから、市場ではリスク資産売りが優勢となった。週末にかけてボベスパ指数は約3.7%下落した。

3. 今週のチャート&ハイライト



ボベスパ指数、ECBを受けて急落

今週のボベスパ指数は、米国の早期利上げ観測の後退を受けて2014年9月以降で初めて60000を超えた。しかし、ECBで現状の金融政策が据え置かれ、資産買入れプログラムの期間延長が発表されなかったことへの失望感から、市場ではリスク資産売りが優勢となり、ボベスパ指数も急落。9月に入ってからの上昇幅を失う格好となった。新興国通貨が売られる中、レアルも下落し週間安値圏での引けとなった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくご留意申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.20－3.35

来週は米国の経済指標に引き続き注目が集まる。特に、15日に発表される8月米小売売上高が重要視されている。先のジャクソンホールでのFRB議長講演で高まった早期利上げ期待は、この所の弱い米経済指標を受けて急速に後退している。現時点では、9月のFOMCでの利上げを予想する声は極めて少数派となっている。更に弱い経済指標が出れば年内利上げ期待も後退することになる。また、12日にはアトランタ連銀総裁、ミネアポリス連銀総裁、ブレイナードFRB理事の講演が予定されている。9月20日から開催されるFOMC前のFRB理事による講演としては最後になるため、これらの講演内容にも注目が集まっている。ブラジル国内では大きなイベントはなく、来週のレアルは米ドルサイドのイベントに振られる展開を予想する。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	0.44%	0.44%	0.52%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	8.98%	8.97%	8.74%
米	卸売在庫(前月比)	0.1%	0.0%	0.0%
米	卸売売上高(前月比)	0.2%	-0.4%	1.7%

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	9/12	IGP-M Inflation 1st Preview	Sep	0.35%	0.00%
ブラジル	9/12	貿易収支(週次)	Sep 11	--	\$489m
ブラジル	9/12	税収	Aug	95700m	107416m
ブラジル	9/13	FIPE CPI-週次	Sep 7	0.20%	-0.03%
ブラジル	9/13	小売売上高(前年比)	Jul	-5.1%	-5.3%
ブラジル	9/13	広義小売売上高(前年比)	Jul	-8.1%	-8.4%
独	9/13	ZEW調査現状	Sep	56.0	57.6
米	9/14	MBA住宅ローン申請指数	Sep 9	--	0.9%
ブラジル	9/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Sep	0.39%	-0.27%
米	9/15	鉱工業生産(前月比)	Aug	-0.2%	0.7%
米	9/15	小売売上高速報(前月比)	Aug	-0.1%	0.0%
ブラジル	9/16	FGV CPI IPC-S	Sep 15	0.30%	0.34%
ブラジル	9/16	CNI産業信頼感	Sep	--	51.5
ブラジル	9/16	経済活動(前月比)	Jul	0.20%	0.23%
米	9/16	消費者物価指数(前月比)	Aug	0.1%	0.0%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。